

# きんもくせい

平成28年10月24日発行  
静岡県養護教諭研究会  
代表 山崎 永子  
(菊川市立菊川西中学校)



「つなげる・つながる」



静岡県養護教諭研究会 副会長 増田 真澄

感動をたくさんもらったリオデジャネイロオリンピック。この夏は、テレビに釘付けで、一緒に喜んだり、涙を流したりした方が多かったのではないのでしょうか。

今回のオリンピックでは、選手たちの戦う姿はもちろんですが、その後のインタビューから学ぶことも多く、どの選手の言葉にも人の心を動かす力があつたと感じています。

私の住む磐田市でも、先日、卓球の水谷隼選手と伊藤美誠選手の祝賀パレードが行われました。



両選手は、言葉では言い表せないくらいきらきらと輝く最高の笑顔でした。パレード後の報告会では、メダルを胸に喜びを噛みしめながら「東京五輪では金メダルを磐田に持ち帰ります」と声をそろえて宣言し、次につなげるための決意表明に市民は笑顔と万雷の拍手でこたえました。

また、銅メダルをかけた女子卓球団体戦での福原選手と石川選手、伊藤選手の試合中の声のかけあい。

私はあの場面から、先輩・後輩の「教える」「教わる」という『縦の関係』だけでなく、声かけや対話からお互いに学び合う『横の関係』が生まれていく様子、縦横に織り込まれたつながりの中に強さの秘密が隠されている様子を発見しました。

このようなことは、私たちの生活の中でもみられるのではないのでしょうか。

声かけや対話を通して、「自分の考えを伝えること」「相手の考えを受け止めること」「自分が受け止めてもらえていると感じること」「相手の考えを理解するために自分が振り返る（フィードバックする）こと」から生まれたつながりは、強い成長のエネルギーを生み出します。

私たち養護教諭も、静岡県養護教諭研究会のテーマ「ひらき・つなげ・深めよう」を意識して活動し、今以上に縦横のつながりを深めていけたらと思います。



## 地区紹介

### 榛原地区



榛原地区は、牧之原市、吉田町、川根本町の小学校17校（複数配置1校）、中学校6校（複数配置1校）の会員数25名で組織されています。

しなやかでへこたれない心もち、人とかかわりながら前向きに生きていこうとする子の育成をめざし、研修テーマを「こころも体も元気な子～こころの力を育てるための保健室からのアプローチ～」と題して、年間4回の全体研修会を開催しています。本年度は、都留文科大学の品田笑子先生をお招きし「人間関係の維持・形成に活用するソーシャルスキルトレーニング」のお話をいただき、実践や指導の場を広げ、レジリエンスを高める取り組みを行っていきます。

また、各市町の研修会においても、様々な健康課題に適切に対応できる知識や技能の習得をめざし、仲間と共に学び、主体的な実践に取り組んでいます。全会員が共通理解のもと、次世代につなげ相互に活かし合うように努めています。次の学校保健研究大会に向けさらに実践を深めていきたいと思ひます。

# 養護教諭夏季研修会

平成28年8月8日(月)

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」



静岡県教育委員会主催の養護教員講習会終了後、本会主催の養護教諭夏季研修会が行われました。

今回の夏季研修会では、「スポーツにケガはつきものか?—『見える化』活動の成果報告—」と題して、名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授 内田 良先生の講演でした。講演では、科学的なデータに基づき、なぜこのような事故が起きるのか、どうしたら事故を防ぐことが出来るのか、具体的な例をあげてお話をいただきました。子どもたちの命を守るためのとても有意義な研修の機会となりました。

<アンケートより> \*感想の一部を紹介します。



- ・事故やケガを「見える化」することで、同じ事故やケガを繰り返すことがないようにしたい。
- ・私たちにできることは、小さな「見える化」を日々意識し、繰り返し、未然防止に努めていくための働きかけをしていくことだと思う。“ひらく”ということにもつながると思う。大きな事が起きてから・・・ではなく、そうなる前に出来ることを“ケガ”という視点だけではなく考えていきたい。
- ・頭部外傷について改めて考える機会となった。子どもの主訴を大事にし、また自分の体の様子を言語化できるように指導していきたいと思った。
- ・頭部外傷の繰り返しによる死亡事故の多さに驚いた。
- ・実際にあった事例を見て驚いた。学校事故がどうしたら減らせるか、安全に活動するにはどうしたら良いか、考えさせられた。危機管理意識を持って挑みたいと感じた。
- ・教育、感動、伝統という言葉の裏で、危険が見えなくなっていることを感じた。子どもたちの安全を第一に考え、当たり前に行ってきたことに危険が潜んでいないか視野が狭くなっていないか考え直していきたい。
- ・リスクというものの捉え方がわかった。組体操の何が危険かということが詳しくわかった。「見える化」は互いが考え、自己判断するために効果があるとわかった。
- ・日々活動している子どもたちの笑顔と命を守る、仕事に直結する内容の研修を受けることが出来て良かった。

## お知らせ

このたび、静岡市立東中学校 養護教諭 平山美奈子先生が、平成28年度学校保健および学校安全文部科学大臣表彰を受賞されます。平成28年10月27日(木)に札幌コンベンションセンターにて表彰式が開催されます。おめでとうございます。

## 平成28年度 冬季研修会のお知らせ

主題：養護教諭の職務をひらき・つなげ・深めよう  
～専門性とマネジメント力の発揮～

日時：平成28年12月2日(金) 会場：あざれあ

午前は、講師に静岡県立こども病院の堀越泰雄氏をお迎えして、「小児がん医療を通したがん教育を考える」について御講演をいただき、午後は「養護教諭の専門性を高め実践的な研修を深める」をテーマに4つの分科会に分かれての研修を計画しています。詳細は後日配布される案内で御確認ください。各自の資質向上のため多くの会員の参加をお待ちしています。